

農経新聞

株式会社 農経新聞社

〒141-0031
東京都品川区西五反田
1-27-6 市原ビル9F

TEL03-3491-0360
<http://www.nokei.jp/>

倉敷青果荷受組合

カット野菜工場を増設 地場産原料の供給強化

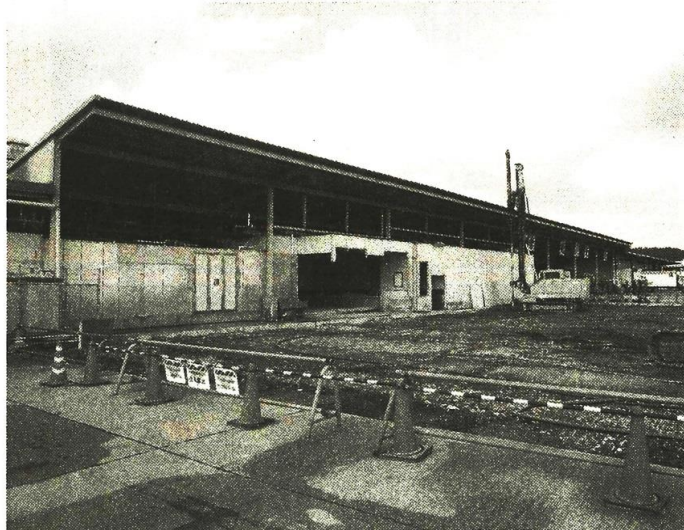
民営青果市場の倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長、岡山県倉敷市)では、カット野菜工場をさらに増設する。岡山県産の野菜を加工原料に活用するため組織している「岡山県産野菜生産・利用拡大協議会」を窓口にして、今年度の農水省「強い農

業づくり交付金事業」を利用。鉄骨2階建、延床面積1325平方メートル、年間処理能力1920トンの新工場を建設する。総事業費は3億8000万円。来年2月に完成予定。同組合の昨年度取扱高は133億円。そのうちカット野菜は43億円で、

年々増加している。2015年10月からは、地場産による原料野菜供給の要望に対応するため、関係する生産者・中間事業者・食品製造業者を構成員として「岡山県産野菜生産・利用拡大協議会」を設立。水田転作、耕作放棄地の活用により、2

018年度を目標に県内で加工用キャベツ985トンの生産・利用を計画した。

さらに協議会では昨年、同組合グループの一員である農業生産法人「クラカアグリ」など3者の新会員が増えた。これにより19年度を目標に、キャベツ800ト、青ネギ128ト、レタス75トの計1003トの生産を、追加して対応する。



既存売場をリニューアルしてカット野菜施設に